

平成 17 年第 4 回 (9 月) 定例会 一般質問通告表

順	質 問 事 項	質 問 者
1	1 市長の政治姿勢について 高野市政の基礎的収支（プライマリーバランス）を質す (1) 4 年余の小泉政権の間に、国の借金約 5 4 0 兆円から 7 4 0 兆円へ激増した。国の深刻な財政状況からして、当市の財政課が示す基礎的収支（プライマリーバランス）は影響が出ないか。予見できる範囲を示せ (2) 佐渡市が自治体の再建を図るには 戦略的には、減量経営の過程で「行政経営」、「政策経営」を職員に徹底させ、自治体の体質・発想・システムの変革を急がなければ、財政の安定化は難しいと考えるがどうか 「行政経営」の実施状況を質す (経済・効率・効果) の実践を問う 政策目標のはっきりしない情性的行政消化で市民を長く誤魔化してきた。佐渡市政は目標管理を徹底させ、行政評価システムを公共投資・サービスだけでなく、人事・給与にも反映させていく必要性が急務と考えるがどうか 佐渡市の財政運営は、財源主義・支出主義から脱皮した、費用効果分析に基づく効果・成果主義へ変革を迫すべきと考えるがどうか 高野市政は、企業誘致・基盤整備はもとよりのことだが、「むらおこし」や特区等を使って観光資源開発や、環境対策におけるごみ再資源化等を経営ベースに乗せる政策能力の実証が求められているが、「政策経営」の展開として具体策を問う	大澤祐治郎
2	高齢者介護施策は市民の求めに応えているか いよいよ 5 年に一度の日本に住んでいる全ての人の動向を調査する国勢調査が 10 月 1 日に行われる。調査結果は、国の今後 5 か年間の諸政策の基礎として生かされると聞いている。 さて、市における過去の調査結果は、急激な過疎化、それに表れる少子高齢化が市民に不安を募らせている。総人口に占める 65 歳以上人口の割合、すなわち高齢化率の佐渡市の推移は想像以上のものがある。平成 2 年で 24.2%、平成 7 年で 28.3%、平成 12 年で 32.1% で、全国平均は 17.5% と約倍の開きが出ている。県の推計では、平成 17 年度の佐渡市の高齢化率は 34.4% としているが、この数字は 16 年度に既にクリアしていると聞いている。市としても実数字に基づく多様な少子高齢化施策の計画・実施は重要である。調査の万全を求める。 私は昨年 6 月定例会の一般質問で、特別養護老人ホームを始めとする施設介護の現況とその増床を求め、市長に新市がまず最優先課題として取り組むべき施策は高齢者福祉行政ではないかと。少子高齢化が最速に進む過疎離島における住民のニーズにあった介護サービスを提供しようとするれば、法規制に係る知恵を出し、福祉特区を推進してはと提言したが、あれから 1 年余、施設介護の現場・住宅介護の現場は何も変わりがない。ますます不安は受ける者にとっても見る者にとっても増すばかりである。	金子克己

順	質 問 事 項	質 問 者
2	(1) デイサービスセンター利用状況について 各施設の事業報告をもとに 今回は、市の在宅介護の補完施設・デイサービスセンターについて聞きたい。各施設が提出している月別事業報告の利用状況を見てみると、1日の利用者数が定数を満たしていないが、どうしてなのか報告願う。また、介護度1・2の方々は特に週に3回の利用を希望しているかに聞いているが、現況は月に3～6回という報告で、利用者の期待に応える方策はないものか聞きたい（「健康な老人・介護は安心」こんな高齢化社会であってほしい） (2) 今後のデイサービスセンター建設計画の進捗について 18年度に建設計画のある西三川地区デイサービスセンターの進捗状況を報告願いたい (3) 福祉特区導入は検討しているのか、見通しの報告を 福祉特区導入の検討はどのくらい進んでいるか聞きたい。また、どんな福祉特区を想定しているか (4) 地域における予防介護の取組みについて 重症介護者をつくらない予防介護の現況と「元気な高齢者」の取組みについて聞きたい。予防介護は、本人や家族の理解はもちろん、地域社会全体の予防介護に対する意識改革が必要であるが、具体的に報告いただきたい (5) 今後の特養増床計画についてと個室型を進めるのかについて 特養施設の増床計画と個室型を今後も建設するのかについて答弁を求める 資料 各デイサービス事業報告書の平成16年12月分を基本に質問 施設建設費（鷲崎・赤泊） 西三川地区デイ建設計画に関すること	金子克己
3	1 登記事務について (1) 市が取得している土地等の未登記について 前回（1年前）調査中とのことで報告されなかった旧市町村の調査結果はどうなったか 件数・筆数・人数等の回答を求める それらの原因は 固定資産税の課税関係はどうなっていたか (2) この1年間に全体でどれだけ処理（解決）できたか ・ 旧市町村別に、発生、処理済、残を一覧表で回答願いたい (3) 解決できなかった理由は 相続関係が多いと聞いたが、もう少し詳しく 書類は揃っていたのに、行政側が登記しなかったものもあるが、市はどのように引き継いだか (4) 今後の解決策はどう考えているか ・ 固定資産税を課していた分について、税相当額を支払ってでも解決を図る考えがあるか	肥田利夫

順	質 問 事 項	質 問 者
3	2 道路改良工事に伴う境界紛争について (1) 旧町村の中で起こっている事件であるが、市はどのように引継いでいるか (2) 国調図面と現況とがかなり違っていると思われるが、どのように調査しているか 国調前の図面と国調後の図面と照合をしてみたか 国調図面のもつ法的重みはどう考えているか 改良工事に係る設計書・図面・仕様書の提示を求めるとともに、それに基づいた改良工事であったか回答を求める 3 情報公開について (1) 市議会中継ビデオの貸出しについて なぜ一般質問だけなのか、その理由を 一般質問以外のものはなぜ出せないのか (2) 臨時議会等も録画しているようだが公開はしないのか 前回の臨時会のものをお願いしたが断われた どんな理由で、誰が決定したのか明確にされたい (3) 市民からは月1,500円の料金を徴収しながら議会の様子は公開しないことについて市長から市民の納得いく答弁を求める	肥 田 利 夫
4	1 海の再生対策について ○ 下水道事業について 環境の島佐渡において、島内の下水処理施設（浄化センター）は、最も環境に配慮した処理方式で運転されているのか 下水処理場から出る下水汚泥の最終処理について、資源リサイクルやコスト縮減に向けた取組みの推進が必要と思うが、その現状について問う 下水道の加入促進を阻害する要因に、高額な使用料による家庭経済への負担が挙げられるが、その具体的改善策を問う 2 佐渡観光と食について ○ 観光資源について 夏の佐渡観光にとって海遊は主要プランのひとつであるが、漁場内における海遊においては、観光客へのおもてなしと漁場秩序の維持（漁場監視など）との間に諸問題が生じている。これについては、行政、観光業者、水産業者で一定の協力と統一した見解が必要と思うが、市の考えを問う 観光資源としての水産物と、地産地消における水産物に意識の食い違いがあるように感じる。食育において農産物同様、水産物にも力を注ぐ必要があると思うが、市の考えや今後に向けた具体的対策を問う	本間勘太郎
5	佐渡再生に今何が必要なのか (1) 佐渡の経済環境は誠に厳しいものがある。5年前のデータで佐渡の総生産額は4,700億円ほどあったのが、今年の調査で約4,200億円、約500億円減少しており25年までの予測では財政需要と人口減なども加わり405億円ほどの減少を予測している。減少額を製造業の出荷額で見ると、25年まで	祝 優 雄

順	質 問 事 項	質 問 者
5	に1,000人の職場がなくなることになる。この悪環境の脱皮にどのような対策を考えているのか、具体的に示していただきたい (2) 監査と事業評価について 16年度548億円余りの執行に対し、「財務監査」と「行政監査」があるが、「行政監査」で個々の事業成果を評価することが可能か 人件費を83億円削減し、83億円を普通建設事業費とした場合と佐渡市職員の人件費として支払った場合を比較して、経済効果を示していただきたい (3) 航路について 交通体系、9月より行われている佐渡汽船の新潟発優遇策になぜ島発の割引が含まれないのか 全国に、本土と離島、離島と離島を架橋で結ばれている数を県別に報告願いたい(6月議会の議論を踏まえ、本土との格差是正議論を深めたいと考えている) (4) 空港について ・ 知事が替わり県の空港に対するスタンスが変わったように感じる。現空港で19人乗り機の活用発言、飛行艇の発言も聞く、真意の程を聞かせていただきたい (5) 指定管理者制度について ・ 指定管理者が決まり条例が提出されたが、管理者の決定作業を進めてみて条例に問題点はなかったか (6) 学校教育について ・ 県が示した、中長期高校再編整備計画の詳細説明と県が示した計画と佐渡市の間に乖離はないか	祝 優 雄
6	1 学力の低下と学校運営について (1) 「ゆとり教育」をどのように考えているか (2) 佐渡の学力の実態は (3) 公開授業の実態は (4) 学校運営の諮問機関が必要と考えるが、運営協議会、評議員会の設置状況は (5) 「教育改革特区」に取り組む考えは 2 食育基本法が設定されたが、それに伴う政策について (1) 佐渡島内の地元農産物の消費と学校給食での地産地消の状況と今後の方策は (2) 給食施設のセンター方式を見直すべきと考えるが 3 指定管理者制度の導入について (1) 受託希望者の提案と選定結果の公表について ・ 指定管理者との協定書の公表 (2) 指定の処分について ・ 不服申出制度が必要と考えるが (3) 施設の管理のチェック、評価システムは	川 上 龍 一

順	質 問 事 項	質 問 者
6	(4) 個人情報保護 (5) 突発的に指定管理者が運営できなくなったときの管理対応は 4 農業委員の業務の補充としての協力員の設置について 5 平成18年度施行される「環境直接支払い制度」の取り組みへの意思について	川 上 龍 一
7	1 野口健環境学校から見える諸処の問題について 環境、観光、教育面への疑問から (1) 事業目的は何か。真の事業名は。事業の企画担当課はどこか (2) なぜ野口健か (3) なぜ観光商工課が担当か (4) 環境保健課の関わりは。環境基本計画のソフト面の活動は (5) 不法投棄監視員12名の業務とは (6) 教育委員会の関わりは。環境教育の現状は (7) この事業を今後どう活かすのか 2 小木こどもセンターの運営と障害者施設について (1) 利用者の公募方法は（小木地区のみか） (2) 小木地区定員割れ（保育・幼稚園・学童）への今後の対策は (3) 3施設の総責任者は誰か (4) 施設の全国への紹介状況は (5) 南部の発達障害者施設の移設計画のその後は (6) 放課後児童健全育成事業での発達障害児の受入れは可能か (7) デイサービスセンター（金井）の開設は計画どおりか 3 小木地区の関連事業から (1) 城山遊歩道改修はどうなっているか（危険箇所及び15号台風災害箇所） (2) 当初工事に欠陥及び計画ミスがなかったのか (3) 舟下し線の工事状況とその必要性の再確認はしたか (4) 内ノ瀬漁港公園の休憩小屋と遊具の改修工事と藤の木の運命は (5) 「ふるさとの森公園」は完成したのか。市としての利用方法は (6) 漁港前道路の通行規制と整備を早急にすべきではないか 4 視察研修からの質問と提言（遠野物語観光に学べ） - 見えないものを大事にする観光と見えるものを見えなくする観光の差 - (1) 佐渡百選：見えない大事な宝は佐渡にはないのか (2) 観光監視・指導員制度・モニター制度を設けてはどうか (3) 観光客はリピーターの意識を関係業者と市民へ持たすべき行動を (4) 高齢者パワーの有償観光ボランティアの育成が必要では (5) 土産物共同店舗（魚介類・農産物）開設の指導と支援を	村 川 四 郎
8	1 平成17年度財政見直しと佐渡市の行政課題について (1) 「三位一体改革」のもたらすもの 歳入の地方税、地方交付税と国・県支出金の相関関係及び地方債削減の影響について 歳出の人件費削減計画と人事管理をめぐる諸問題について	加 賀 博 昭

順	質 問 事 項	質 問 者
8	繰出金の増加と普通建設事業費の削減と行政課題について（福祉・下水道、環境、観光商工、建設、農水、企画情報、教育、病院、市民（税務）総務、財政、各課の課題について） (2) の各課の課題については、それぞれの課の重点施策についての開陳を求め、政策論戦を展開する（三位一体化時代を踏まえての論戦。課によっては が課題になる） 2 助役の業務分担に一考を要しないか ○ 助役2人制の目的と、今日的課題について	加 賀 博 昭
9	1 アスベスト問題について (1) 市管理施設におけるアスベスト使用の現状把握と今後の市の対策を問う (2) また、一般住宅を含むその他の予想されるアスベスト使用施設に対しては、市はどのような対処を考えているか (3) アスベストによる罹患市民への健康相談等の対策が必要と考えるが、市の対応を問う 2 介護保険施設への入所者待機問題について ○ 介護保険施設への入所には、多くの該当者が切実な思いで待機している現状にあるが、保険者である市はその入所待機者の解消に責任を負っているものである。今後の具体的な解消策を問う 3 指定管理者制度について ○ 指定管理者制度の施行に当たっての市の対応に一体的認識に欠けるとの批判があるが、改めて指定管理者制度に対する市の考え方を問う 4 都市公園の管理について (1) 中原蓮池公園の外堀構造は利用者の安全面から問題があり心配だとの住民の声があるが、公園管理面から市の考えを問う (2) 都市公園の維持管理の現状と今後の管理に対する市の姿勢を問う	小 杉 邦 男
10	1 統合的視野に立った医療・福祉・保健の総合計画の必要性について (1) 医療について 両津・相川の市立病院を統合できないか（本院～分院） 医師・看護師等スタッフの共有と交流、患者やベッド・事務等の一元管理・運営の実現が必要ではないか 佐渡総合病院や開業医との連携・役割分担を踏まえた市立病院の意義と守備範囲の明確化を図れないか (2) 福祉について 総合福祉会館建設見直しの概要 三位一体の拠点たりうるか、その総合調整機能の具体案はあるか 医師会・社協・福祉法人・専門職団体・利用者団体などの集合は可能か 更なる協業化の促進を！ サービスの拡充と向上に向けて、地域・施設あるいは対象者別の棲み分けを取り払って、相互参入と競合を図るべきではないか (3) 保健について	田 中 文 夫

順	質 問 事 項	質 問 者
10	保健分野は支所と同様に社会福祉課の傘下に組み入れるべきではないか 介護予防の具体策は？ 保健師が主導的な役割を果たすべきではないか。 また保健師・社会福祉士・介護福祉士・ケアマネなどによる協議が図られているか 2 乳幼児への支援策について (1) 保育所の統廃合と適正配置について 具体案があるか 民間保育園への評価は 指定管理化、民営化の方策を採るか (2) 幼稚園の運営について 小木方式について、どのように考えるか 廃止か全市適正配置か 3 図書館運営の充実化に向けて (1) 組織上の位置付けについて 教育委員会（本所）へ引き上げるべきではないか 視聴覚ライブラリー、博物館などを含んだ新設課の中核に位置付け、 文化行政の発信拠点としたらどうか 本館～分館～分室の組織整備と職員の一元管理が必要ではないか (2) 市立図書館の場所について 佐渡高校金井校舎へ移転してはどうか 同地へ生涯学習センターを設置し、図書館との相互連携・有効活用を図ってはどうか (3) 開館日時の充実 祝祭日の開館、殊に文化の日は開館できないか 文化の日をメインに、行事や企画物を主催できないか 4 ミニ動物園の開設について (1) 馬がいなくなる 祭事とはいえ流鏑馬神事が継承できなくなることは、伝統文化の損失になると思うがどうか 当面馬飼育への補助金交付、あるいは公園等での直営飼育は検討できないか (2) 牛・豚・山羊などの家畜、七面鳥・アヒル・ニワトリなどの家禽が身近にいない 飼育の奨励と愛好家の育成・支援が必要ではないか 処分あるいは屠殺の場も必要ではないか (3) 身近であった佐渡在来の小動物を集めて飼育・展示できないか 先に提案した墓地公園との併設、あるいは市長回答の上位学校に農・林・漁業科を設置して、飼育等に当らせるというのはどうか 現在飼育しているトキ・猿・地鶏を集合させ、そこに家畜・家禽・在来鳥獣を加えるだけで、容易にミニ動物園ができ上がると思われるがどうか	田 中 文 夫

順	質 問 事 項	質 問 者
11	1 新市建設計画の見直しについて (1) 「合併特例債事業」見直しに対する市長の基本的姿勢について所見を伺う (2) 勝ち組、負け組をつくらず地域バランスを配慮した一体感ある発展を図ることが重要と思うがいかが考えるか 2 農業政策について (1) 18年度生産調整について 作付面積の集落間調整をどのように進めるか 産地づくり交付金の収支状況と今後の使途について (2) 担い手育成支援策の現状と2007年に向けた具体的取組みについて (3) 農薬の空散中止以後の代替策検討は急がれるが取組みの現況は 3 総合学習について (1) 二極化されている評価への所見を伺う (2) 学校現場へのサポート対策が必要と考えられるがいかが考えるか	小 田 純 一
12	1 行政運営について (1) 17年度より開設された12の室の中で「家庭相談室」と「観光資源開発室」の活動状況を問う (2) 17年度より各課の職員定数変更で増減があったが、各課における職員数は適正か (3) 本庁及び各支所別の16年度、17年度7月までの時間外手当の合計額、一人当たり平均時間、一人当たり平均金額を問う (4) 今年のトライアスロンも無事終了したが、当日、超過勤務手当がついている職員はいるのか 2 佐渡観光について (1) 8月までの佐渡観光客の入込みと、現在までの佐渡汽船の社会実験の経過について (2) 観光シーズンのピークも終わり、今年の夏まつりの行事の総括と、特に外貨を得るうえでの宣伝戦略を問う 3 補助金を要する祭り及びイベントの是正について (1) 祭り予算を観光協会費やイベント委託料にした理由 (2) 「佐渡情話」「宵乃舞」「野口健環境学校」の補正理由及び各実行委員会への指導は	廣 瀬 擁
13	1 行財政改革について (1) 見直された中期財政計画について ・ 合併時示された財政計画との対比は (2) 新市建設計画の見直しについて (3) 指定管理者制度について 選定基準の事前公表はしたのか 市が出資金・補助金を出している事業者が管理者に内定している施設があるが、施設運営費に歯止めがかかっているか 2 教育問題について (1) 2 検討委員会からの答申について、今後の取組みについて問う	金 光 英 晴

順	質 問 事 項	質 問 者
13	(2) 総合学習について 今年度までの取組みについて 今後の方向は、また課題は何か 3 環境と農業について (1) 有人ヘリによる空中散布はどうなるのか (2) 代替はどうなるのか	金 光 英 晴
14	1 佐渡観光振興について (1) 佐渡観光アクションプランと佐渡百選の17年度取組みについて プレミアムツアーの総括とオリジナルツアーの今後について 17年度予算書にＨＰ（ホームページ）の充実として600万円計上されているが、佐渡観光協会ＨＰと佐渡宿泊施設ＨＰとの相互リンクや情報提供等現状はどうなっているのか。またリニューアルする予定なのか ア 佐渡観光ネットボランティアとはどんな活動内容で会員は現在何名位登録されているのか イ また17年度事業計画には効果的な情報発信としてインターネットを活用した情報発信の充実「タイムリーな情報を発信するための観光情報総合ポータルサイトの構築」とあるが具体的に何を指すのか 今年設置された両津港のツアーデスクについて ア 運営方法や設置場所が決定された経緯、また利用者の利用状況・実態調査についてはどうだったのか。また現在の設置場所は、今回限りのものか イ 17年度予算書にツアーデスク関係費1,551万円計上されているが、今後の総合観光案内所も含めたツアーデスクに対する方針を問う (2) 佐渡観光協会一本化の進捗状況と今後佐渡市として対岸との広域観光ネットワーク化構想や佐渡市観光基本計画を策定する予定はないか、所見を伺う (3) 佐渡汽船との3者協議会が開催されて1年が経過したが、今後会議を進める上で佐渡市として戦略的にどのような取組みを考えているか、その対応を問う (4) お笑い島計画事業によって、佐渡のイメージアップ及び佐渡観光に影響や効果が生まれ、若者層をターゲットに新たな観光客層の開拓という当初のねらいどおりにいっていると思うが、現在までの市長の感想を聞く (5) 合宿誘致、各種スポーツ大会の誘致、合宿も兼ねたレコーディングスタジオ等の誘致など「交流拠点を生かした観光地域づくり」や「スポーツ環境整備の充実化や計画性あるダイナミックなプランをもった施設づくり」が交流観光層の拡大には必要と思うが、市長の所見を伺う (6) フィルムコミッションの設立やインターネットを活用した佐渡島内ライブカメラ設置の検討は、今後のＩＴにおける観光ＰＲと情報発信の推進にとってキーワードとなりうるものと思うが、市長の見解を問う 2 佐渡におけるグリーンツーリズムに対する市長の所見を問う (1) 特定農地貸付法が改正され、また規制緩和による農家民宿がクローズアップされているが、行政としてどのような役割を考えているか	石 塚 一 雄

順	質 問 事 項	質 問 者
14	(2) 農家の担い手の高齢化に伴う機能の低下、後継者不足、農村集落の過疎化の現状の中、どう推進し展開していくのか (3) 自然豊かで環境を大事にする人たちと、そこで働いてみたい人たちをつなぐことを目的とし、金銭のやり取りなしで「食事・宿泊場所」と「労働力」を交換する仕組みのWWOOF JAPAN（ウーフ・ジャパン）という支援組織があるが、農家の働き手に島外の労働力を受け入れることも今後不可欠と思われる。労働力受入れの一環として検討してみてはいかがか	石 塚 一 雄
15	1 介護保険制度の改正について (1) 制度改正について ・ 佐渡市として、全体をどのように評価しているのか (2) 施設利用者の負担増について 10月から介護3施設（特養ホーム・老健・介護療養型）の居住費・食費が保険給付から外され、全額自己負担によって、どの程度影響があるのか 特養ホームなど施設から退所されるような人たちがいないのかどうか (3) 福祉事業を介護保険に吸収することについて ・ 「地域包括支援センター」の創立についてどう理解すればよいのか、佐渡市としてはどう考えるのか (4) 制度改変について ・ 「地域密着型サービス」の創設について佐渡市としてどう考えていくのか	中 村 良 夫
16	1 行財政改革について (1) 郵政民営化について市長の考えを伺いたい (2) 指定管理者制度について ・ 最終的にどのくらいの件数を見込んでどのくらいの経費削減を見込んでいるか (3) 佐渡市の行財政改革には何を重点事項として捕らえていくのか 2 公立学校の耐震について (1) 耐震性が確認されているのは何校あり、耐震化率は何パーセントか (2) 児童生徒等の安全確保及び非常災害発生時の地域住民の応急的な避難場所として猶予できない問題と考えるが、学校施設の耐震化推進にはどのように取り組む考えか 3 子育て支援について ○ 佐渡市としての子育て支援対策の計画を伺う	羽 入 高 行
17	1 教育行政について (1) 文化芸術振興について 文化芸術振興法が平成13年11月30日に成立・施行された。地方公共団体は施策の推進を求められているが、本市の取り組みを尋ねる 施政方針に生涯学習課内に「伝統文化研究所準備室」を設置とある。活動状況を伺う 本市での文化活動支援、市民への周知をどのようにして行っているか	本間千佳子

順	質 問 事 項	質 問 者
17	学芸員など専門的知識と技術を備えた人材の確保、機能は果たされているのか 公立博物館など国では常設展における小中学生の観覧料金が無料になっている。本市の実態を問う 佐渡出身の芸術家作品を展示する美術館の声がある。考えを伺いたい 文化による地域づくりから、文化振興条例の制定について考えを問う (2) 学校統廃合について 地域説明会の呼びかけ方法、参加者、反響を問う 小学校統合は地域を守ることから中学校を中心に進める考えは 2 社会福祉行政について (1) 子育て支援について 施政方針に少子化の流れを変え、子育てがしやすい環境を整えとある。構想を伺う 佐渡市次世代育成支援行動計画が配布されたが、子育て支援センター、子育て支援マップの計画を尋ねる (2) 家庭相談室について 社会福祉課内に設置された「家庭相談室」の規模、スタッフ、相談件数、問題点を伺う プライバシーを守る相談室の確保、一時的に逃れる場所の「かけこみ寺」の必要性を問う 3 農林水産行政について (1) 農地農業用施設災害復旧について 災害復旧事業費の国・市・受益者負担割合を見直す考えを伺う 受益者負担の重荷で耕地を荒らす傾向にある。農地を守り、自然環境を守る一助と考えるが (2) 地産地消・食育について 地産地消の組織機構を問う 食育の時代にあって啓発などの組織はどのようなになっているのか	本間千佳子
18	1 行財政改革について (1) 佐渡市の財政見通しは、非常に厳しいものである。行政改革の見通しは (2) 税金の無駄を徹底してなくすことについて (3) 指定管理者制度の取扱いについて 今後の予定について 委託料の算定に当たって 選定委員会での採点方法は 透明性確保について (4) 人員定数と削減策について (5) 施設の統廃合について 2 機構改革の今後について (1) 佐渡市において行政機構はまだ不十分であるとする。行政の効率的・効果的な運営を進める上で、必要不可欠である今後の展開は (2) 戦略的に実践力のある人材の適正配置を	稲辺茂樹

順	質 問 事 項	質 問 者
19	1 少子化対策について 2 農作物被害防止及びトキ放鳥に向けてのムジナ対策について 3 造成公有地（羽茂港5.5ha）利用計画について ○ 南部地区体育館、海洋センター等について	本 間 武 雄
20	1 アスベスト対策について (1) 市営施設（教育施設・水道アスベストセメント管含む）について (2) 民間施設について (3) 市内に相談所はあるのか 2 行財政改革について (1) H25、H30の財政規模の予測について (2) 職員数の推移について (3) 市長、議員の報酬額について (4) 教育施設整備（統合）の実施時期について 3 市庁舎及び周辺整備計画について (1) 市庁舎、議会棟、教育委員会、佐渡高校金井校舎、病院、消防署、警察署、道路（金畑線・国道バイパス等）について (2) 総合体育館、陸上競技場の建設場所について (3) 農振除外及び転用を市長所掌事務とする特区申請をすべきでないか	近 藤 和 義